

「古典講読」 (選択科目)	単位数	2 単位
	学科・学年・学級	普通科 第3学年1組～5組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 二年時の古典講読の学習を踏まえ、日本と中国の古典の世界に親しみ、味わう能力を育てます。 2 さまざまな時代の優れた文章にふれ、古人の心情を想像し理解することを通して、視野を広げ自分の心情を豊かにし言語感覚を磨きます。 3 古典作品を読み理解することで、言語文化に対する関心を深め、人生を豊かにしようとする態度を育てます。
使用教科書・副教材等	「新古典講読」(右文書院) 「新総合 図説国語」(東京書籍)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考(学習活動の特記事項,他教科・総合的な学習の時間・特別活動との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	1 説話：沙石集 古今著聞集 十訓抄	4	・一学期は二年次の学習の確認しながら、古文漢文とも、親しみやすい、比較的やさしい文章を読み、古典に対する親しみを深め、読解・鑑賞する基礎を養います	・	第1学期中間考査
	2 故事・小話：韓非子 蒙求 孟子 淮南子 戦国策 礼記 世説新語 論語	6	・古文の基本的な文法事項を理解します。 ・登場人物の心情の変化を読み取ります。 ・声に出して繰り返し読み古文の調子を味わいます。		第1学期期末考査
	・【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリントやワークシート(全部で10枚程度)				

【第1学期の評価方法】 1 中間考査と期末考査の成績、プリント・ワークシートなどの提出物、および活動の内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。				
第2学期	1 随筆：徒然草 方丈記	90	・豊富な話題と深い人間理解、批評の精神に満ちた随筆を読み、人生や社会について思索的な眼を開くようにします。 ・作者について調べ、作者の感じ方、考え方を知り、時代とのかかわりについて理解を深めます。 ・読者に直接語りかけてくる随筆文学の面白さを味わいます。 ・ひとつを選んで感想を書いたりもします。	第2学期中間考査
	2 漢詩：絶句 律詩 古詩	1112	・漢詩独特の表現を通して、詩人の感じ方や考え方を理解し、韻文の魅力を味わいます。 ・絶句、律詩の形式について整理し、その知識を確かなものにします。 ・それぞれの詩を繰り返し朗読し、時には暗唱なども取り入れて理解を深めます。 ・詩人について調べたり、解説や脚注を参照したりして読解します。 ・優れた表現を味わい、人間、社会、自然などにたいするものの見方を深めます。 ・ひとつを選び鑑賞文を書いたりもします。	第2学期期末考査
【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリントやワークシート（全部で10枚程度） 2 ノート				
【第2学期の評価方法】 1 中間考査と期末考査の成績、プリント・ワークシートなど提出物、および活動の内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。				
第3期	1 随筆：枕草子	3	・今まで学習した古典の知識を踏まえ、読解力や鑑賞力を高めます。 ・平安時代の女性の生き方、感じ方を読み取ります。現代に通じる繊細で鋭敏な作者の感性が切り取った世界を味わいます。 ・一年間のまとめとして感想文をかきます。	第3学期期末考査

学 期	【課題・提出物等】
	1 授業の中で使用するプリントやワークシート（全部で3枚程度） 2 ノート
	【第3学期の評価方法】 1 学年末考査の成績、プリント・ワークシート・提出物および活動の内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。
【年間の学習状況の評価方法】 下記の(2)に示した4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績及び第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。	

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・古文、漢文の中からひとつでも、興味のある分野を見つけることができることが大切です。受け身で読むのではなく自分が面白いと思って読むことで語彙力や思考力も養われて来ます。 ・古文漢文とも、時には声に出して読むことも必要です。何度も音読することをお勧めします。 ・まず読むことから始めて古典の世界のさまざまな人のものの感じ方考え方に触れ、自分なりの感想を持って、さらにそれを他人に伝えられるようにすることが大切です。他人に伝えることで、自分の考えが確かなものになります。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・授業中の疑問や、意見などはなるべくしまい込まずに発言してみるようにして下さい。そうしたやりとりの中からもいろいろな発見があるはずです。 ・教科書は本文を一度は読んでおいて下さい。 ・ノートについてはただ写すのではなく、書いてある内容を理解しながらとってもらいたいと思います。後で見てわかるノートにしましょう。 ・提出物については遅れずに出すようにしましょう。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「資料活用の技能・表現」、「知識・理解」の4つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
「関心・意欲・態度」	・古典の作品に対しての関心を高めているか。 ・意欲的に課題を追究する態度や自分なりの意見を構築しようとする態度を身に付けているか。 ・古典作品の内容を自分なりに消化吸収していく姿勢を身に付けているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・ワークシート ・授業の中で使用するプリント ・ノート
「思考・判断」	・古典の作品の内容に対して自分にかかわる課題を見いだすことができるか。 ・作者の主張に対して自分なりの感想を持ち、評価を下すことができるか。	・定期考査の論述問題 ・ワークシート ・授業の中で使用するプリント

「資料活用 の技能」	・ 古典の作者や時代背景について積極的に調べようとしているか。 ・ 調べた情報を作品理解のために活用することができるか。	・ ワークシート ・ 授業の中で使用するプリント
「知識・理解」	・ 音声、文法、表記、語句などを理解し身に付けているか。 ・ 古典の文章の内容を正しく理解することができているか。	・ 定期考査

3 担当者からのメッセージ

- ・ 皆さんの状況に合わせていろいろな形でわかりやすい授業を展開し、出来るかぎり活発な授業となるよう努力します。
- ・ 古典のさまざまな作品に触れ、古人の考え方に触れる中で、日本や中国の文化について学び、人生を豊かにできるよう自分なりのものの感じ方、考え方を育てるようにします。